

会 議 録

会議名 (協議会等名)		令和7年度第2回大沼公民館運営協議会		
事務局 (担当課)		大沼公民館 電話042-744-7722(直通)		
開催日時		令和7年9月18日(木) 午後7時～8時20分		
出席者	委員	24人中 19人出席(別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	4人(館長代理、外3人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		<p>2 議 題</p> <p>(1) 事業報告及び今後の事業について</p> <p>(2) 第2回スポーツまつりについて</p> <p>(3) 第34回子どもまつりについて</p> <p>(4) 第28回公民館まつりについて</p> <p>(5) 自主企画提案事業開設に係る審査について</p>		

協議の要旨

主な内容は、次のとおり。

1. あいさつ(会長)

花壇コンテストで銀賞を受賞した。

大沼公民館の改修は他公民館も築年数順に対応を進めているところであり、もう少し先となる。教育長が10月に交代されるなどの報告があった。

2. 議題(議長 副会長)

(1) 事業報告及び今後の事業について

4月から9月までの公民館事業報告と11月までの事業について各専門部から説明及び報告があった。

○体育部は、ポッチャ大会が2年目となり、同好会が立ち上がり活動していると聞いている。また今年度、振興計画の活動計画の中にある手作り講演会を初めて実施した。秋にはモルック体験会とグラウンドゴルフ大会を予定している。

○文化部は、歴史講座を3回連続講座で実施した。大沼はスゴイを実感するバスめぐりを第2回目に行った。今後の予定として、着物に関する文化講座やアンデス地方の音楽を聴くコンサートの実施を計画している。

○青少年部は、わいわいがやがや遊ぼうが熱中症の心配がされる時期の実施だったため、公民館内で出来るものとしてバスボムづくりとジャンボシャボン玉を作って遊ぶ事業を行った。

○広報部は、館報おおぬま197号(7/1 発行)、198号(9/1 発行)を発行。40周年記念号の発行を12月1日に予定、通常発行分とは違い印刷機を使って作業をする。

●大沼けやき学級を9月26日から11月14日まで全8回で開催する。募集定員40名に達し40名の応募があった、現在開級式に向け準備をしている。また保育室の開放、学習スペースの開放、卓球台開放の利用状況について報告した。

→質疑・意見等なし

(2) 第2回スポーツまつりについて

○資料とチラシを基に昨年同様、ミニ運動会や地域スポーツ団体紹介の二部構成で実施する。今年は新たに模擬店のコーナーを設置することや当日までの予定について説明があった。

→質疑、意見等なし

(3) 第34回子どもまつりについて

●資料により事業概要及び子ども実行委員の募集状況について説明した。

○青少年部長から第1回の会議で実施する内容についての補足や各団体へ協力の要請があった。

→質疑、意見等なし。

(4) 第28回公民館まつりについて

事務局より資料を基に説明をした。

例年までは秋に実施していたが、創立40周年記念のフィナーレになるよう、実施日を2月28日(土)と3月1日(日)に変更し、通常の発表・展示・講習会・模擬店部門の他に記念事業部門を設ける。9月20日(土)から参加募集を行う。公民館を利用している

団体すべてが対象であると説明した。

→質疑、意見等はなし

(5) 自主企画事業開設に係る審査について

事務局より自主企画提案事業についての目的と、今回申請のあった事業計画について説明した。開設について諮った結果、賛同多数で承認された。

3. 報告事項

(1) 第28回大沼公民館交流会について

事務局より97名の参加があったことを報告した。

→質疑、意見等なし。

(2) 公民館スペースなどの利用状況について

事務局より利用状況について報告した。

ミーティングスペースを毎週水曜・金曜に学習スペースとして開放、夏休み期間は毎日開放を行った。

将棋普及事業、1学期及び夏休みに実施した。2～3学期の将棋教室参加者を募集中で現在7名の申込みを受付けている。

保育室開放は午後の利用が多く、保育ボランティアの協力をいただきながら開催をしている。

また、公民館に親しみを持ってもらえるように、談話コーナーの充実を図っている。

→質疑、意見等なし。

(3) 視察研修会について。

事務局より、昨年度まで市内各区3カ所公民館を見学したので、今年は近隣市町村の施設を視察先に考えている。時期は2月を予定、詳細は改めて周知する。

→質疑、意見等なし。

4. その他

(1) 大沼公民館運営協議会の開催日時(予定)について

議長より次回会議日程について確認が行われた。

(2) その他

○大沼保育園職員募集チラシの掲示協力について依頼があった。

→出席している自治会長に伺い、個別に掲示してもらおう了承をいただいた。

●公民館に期待するものについて、皆さんと意見交換をしたい。

→会長の提案により、公民館に対する意見を出してもらった。

○小学校の近くに公民館があるので、暑くて外で遊べない時など子どもたちがすぐに遊びに来られるスペースがあるとよい。

○小学校から公民館が遠いのでなかなか行けない。6年生を対象に地域の歴史を教えてもらうなど授業の一環としてやっていただけるとありがたい。

○コロナ禍を経てかなり地域との繋がりが途絶している状況にあり、関係を構築していかないといけないが生徒たちが部活動や塾など忙しく触れ合う機会がない状況にある。大沼公民館の事業に大野台中の生徒がどの程度参加しているのか気になる。先日、放送のお手伝いを何名か出してもらいたいという依頼があった。具体的な要請があると協力がしやすい。

- 自治会では子どもたちに参加してもらえるものとして芋掘りを考えている。
一方高齢者の自治会館の利用率は高くスケジュールは埋まっている。
- 小学校のPTAとしては健全育成協議会で公民館に来るぐらいで、中に入ることがほとんどなかった。保育園に通っている頃から公民館に馴染みがあると小学生になってからも遊び場として根付くのではないか。
- 当自治会では、高齢者は公民館まで歩いてくるのは大変。数か月に1回程度のふれあいサロンをもう少し増やしてもらえると高齢者も公民館に行くようになると思う。子どもたちは大野台小に通っているが、大沼も大野台も中途半端な距離で行く人は少ない。
- 公民館に関わらない人は公民館が自分の行く場所ではないと思っている。どうやって関わっていいかわからない。20代から50代(特に子育てが終わった人や仕事が一段落した層)を掘り起こしたい。そのために自主企画提案事業を今回提案した。自分が所属する大沼音楽クラブがサポートをして公民館まつりの出演までできたらと思っている。
- 本当にサークルが少なくなった。以前の公民館まつりの発表は30分交代で区切るぐらい出演団体がいた。高齢化によるもので仕方ないと思っているが、公民館まつりはなんとか成功させたい。
- 公民館の活性化について、専門部や役員を中心に進めているが内輪にとどまっていることは否めない。地域全体をどうやって掘り起こしていくか。例えば中学校の文化系部活動や先生方の会議で利用してもらったり、中学生の職場体験やまち探検で公民館の存在を知ってもらうことも必要。特に校長先生から児童・生徒へ声掛けをしていただき、地域と学校の協働に繋がるようお願いしたい。
- 小学生の頃は事業に参加してくれた子どもたちが、中学生になると忙しきで来られなくなり、離れていってしまうことも食い止めたい。子どもまつりでは1日だけでも参加できるような関わり方も可能にするなど方法を考えているのでぜひお声掛けいただきたい。

以 上

大沼公民館運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	佐藤 純	大沼公民館館長		出席
2	長友 広成	大沼小学校校長		出席
3	神原 由香里	若松小学校校長		出席
4	岡部 尚紀	大野台中学校校長		出席
5	汐見 壽夫	大沼若松地区自治会連絡協議会会長		出席
6	小宮 玉男	大沼若松地区自治会連絡協議会副会長		欠席
7	永野 宗助	大沼若松地区自治会連絡協議会副会長		出席
8	櫻井 優一	若松小学校 PTA 会長		出席
9	野村 光平	大野中地区老人会連合会副会長		出席
10	樋口 和也	大野中地区球技連盟副会長		欠席
11	藤田 浩実	大沼地区青少年健全育成協議会副代表		出席
12	上田 照子	大沼公民館利用登録団体		出席
13	堤 道子	大野中地区民生委員・児童委員協議会会長		欠席
14	林 嘉美	大沼保育園園長		出席
15	佐藤 さとみ	大沼地域包括支援センター管理者		出席
16	佐藤 清美	大沼子どもセンター館長		欠席
17	渋谷 憲奏	公募委員		出席
18	小助川 和夫	大沼地区健康づくり普及員協議会理事		出席
19	市川 裕子	大沼地区スポーツ推進委員		出席
20	加藤 美夜子	大沼地区青少年指導委員連絡協議会会計		出席
21	大木 英史	大沼公民館体育部副部長		出席
22	添野 恵子	大沼公民館文化部部長		欠席
23	山本 達郎	大沼公民館青少年部部長		出席
24	松尾 景子	大沼公民館広報部部長		出席

